

出典：

平成 22 年都道府県生命表

平成 22 年厚生労働省国民生活基礎調査

平成 22 年人口動態特殊報告

平成 23 年患者調査

平成 22 年特定健康診査受診者等の性・年齢階級・保険者種別ごとの分布

平成 25 年医療費動向調査

国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

国保データベース（平成 27 年度累計）

平成 26 年医師・歯科医師・薬剤師調査、医療従事者調査

1. 各種健康指標の関係

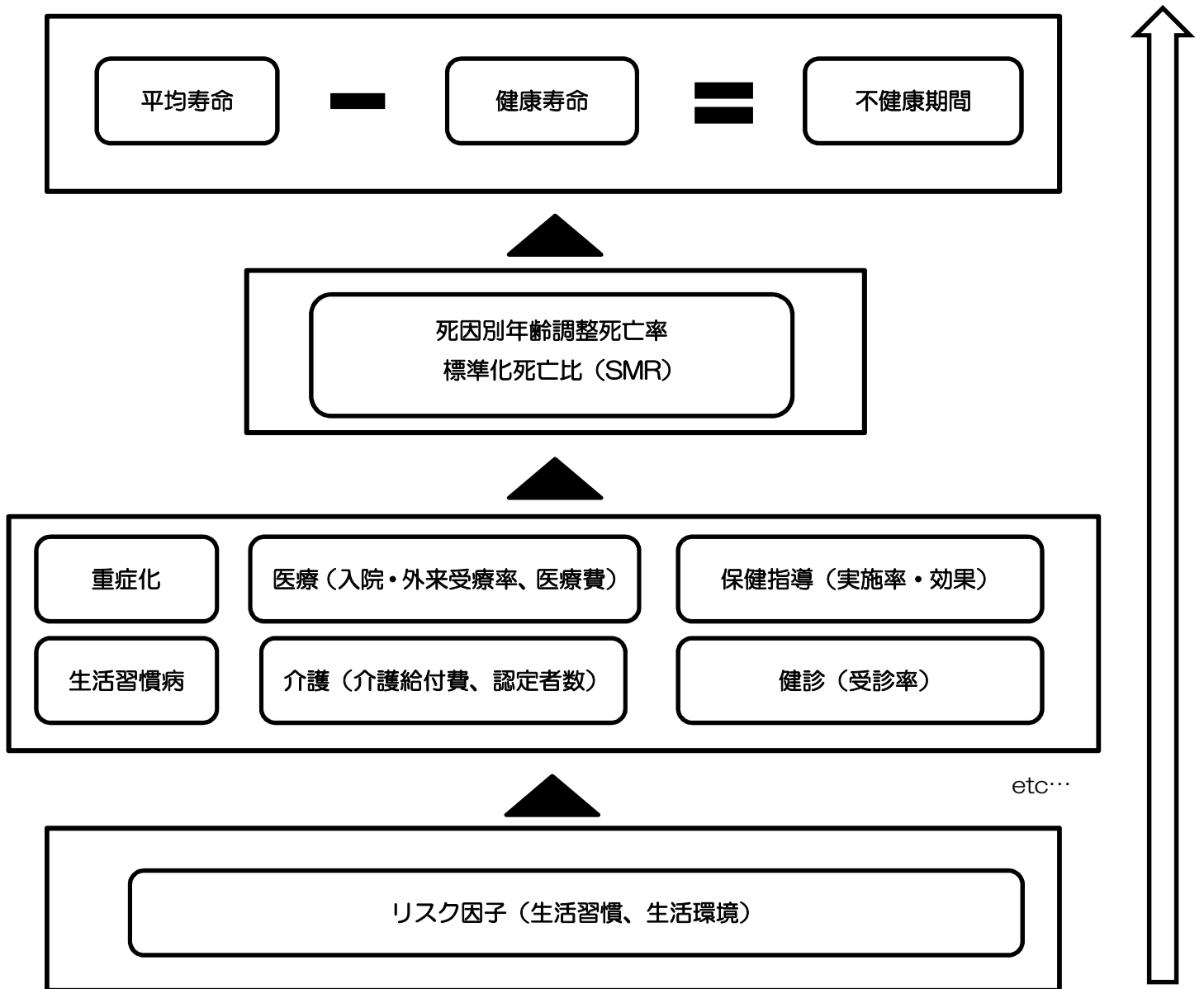
2. 上位の指標

3. 中位の指標

4. 下位の指標（医療、介護）

5. まとめと次回以降のデータ分析の方向について（提案）

1. 各種健康指標の関係

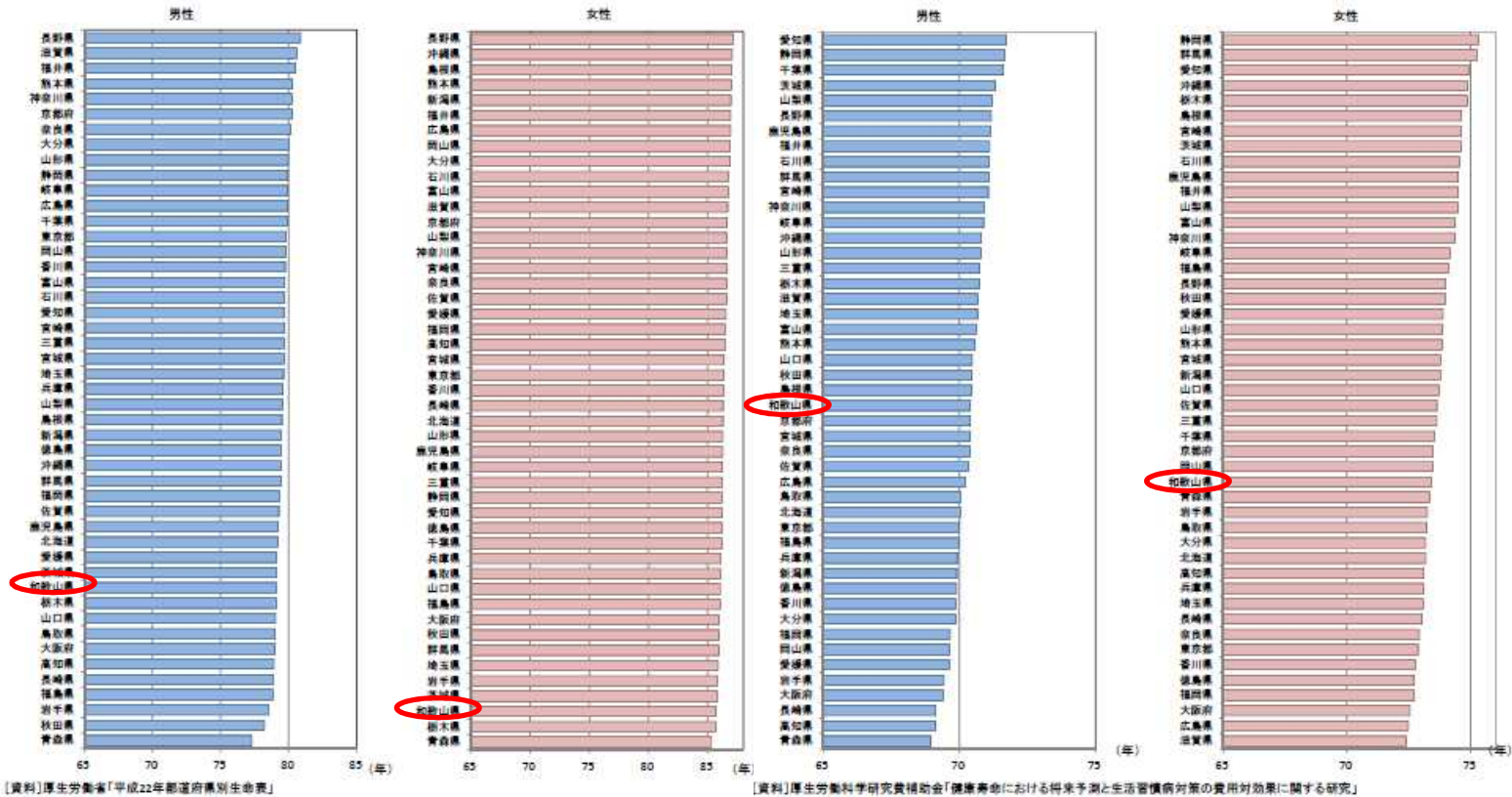


2. 上位の指標

平均寿命・健康寿命・不健康期間

都道府県平均寿命

都道府県健康寿命



平均寿命全国順位

男性 37 位

女性 45 位

健康寿命全国順位

男性 25 位

女性 30 位

図：平均寿命・健康寿命（日常生活制限） 都道府県別順位（平成 22 年度）

地域	平均寿命 男性	平均寿命 女性	健康寿命 男性	健康寿命 女性	不健康期間 男性	不健康期間 女性
全国	79.6	86.4	78.2	83.2	1.4	3.2
和歌山県	79.1	85.7	77.6	82.4	1.5	3.3
橋本市	79.4	86.0	77.6	82.5	1.8	3.5
かつらぎ町	78.8	86.4	76.8	80.5	2.0	5.9
九度山町	79.2	85.5	77.5	81.7	1.7	3.8
高野町	79.1	85.9	77.0	82.0	2.1	3.9

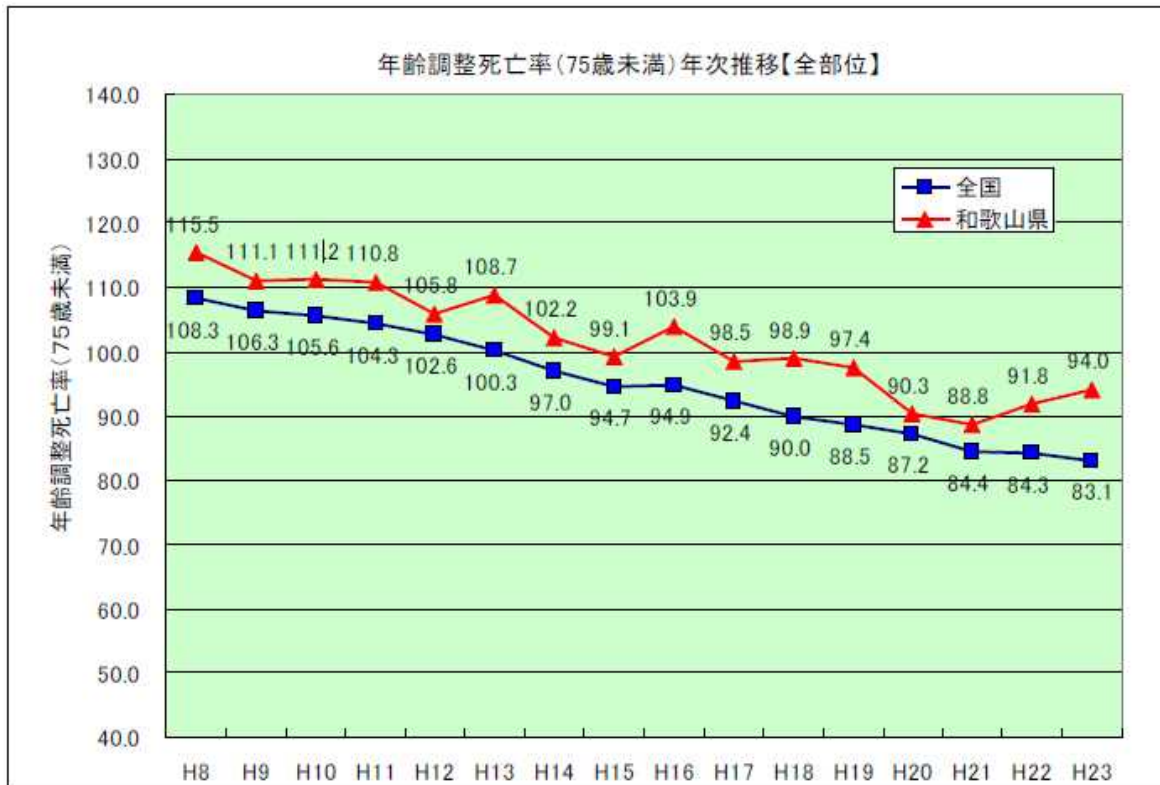
図：全国、県、市町別平均寿命（歳）、健康寿命（歳）、不健康期間（年）（平成 22 年度）

3. 中位の指標

①年齢調整死亡率

●がん

悪性新生物年齢調整死亡率年次推移（人口 10 万対）



第2次 和歌山県がん対策推進計画

全国・県がん部位別年齢調整死亡率（2014 年、75 歳未満年齢調整死亡率、人口 10 万対）

	全部位	胃がん	大腸がん	肝臓がん	肺がん	乳がん	子宮がん
男性（全国）	100.1	14.0	13.6	9.0	22.7	—	—
男性（県）	110.9	17.8	15.2	11.7	22.3	—	—
女性（全国）	59.7	5.6	7.7	2.4	6.9	10.5	4.9
女性（県）	57.8	6.6	8.6	2.7	5.5	8.4	4.2
合計（全国）	79.0	9.6	10.5	5.6	14.5	—	—
合計（県）	82.2	11.8	11.6	6.9	13.3	—	—

全国・県がん部位別年齢調整死亡率都道府県順位（2014 年、75 歳未満年齢調整死亡率）

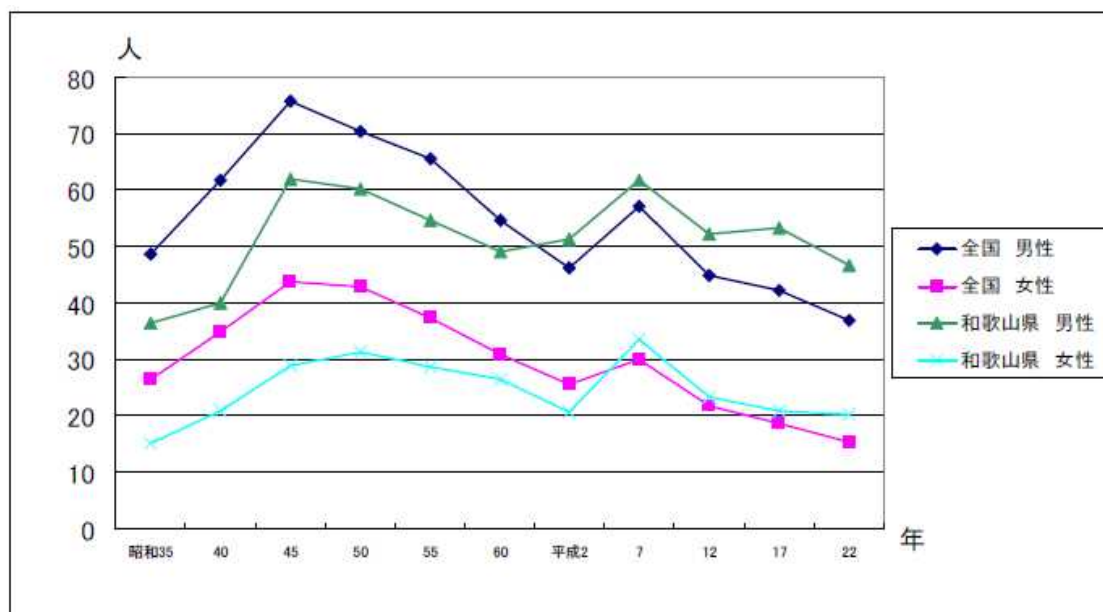
	全部位	胃がん	大腸がん	肝臓がん	肺がん	乳がん	子宮がん
男性	44 位	44 位	42 位	40 位	23 位	—	—
女性	19 位	37 位	40 位	29 位	5 位	6 位	15 位
合計	39 位	41 位	44 位	38 位	10 位	—	—

注 大腸：結腸および直腸、S 状結腸移行部 肝臓：肝及び肝内胆管 肺：気管、気管支及び肺

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

●虚血性心疾患

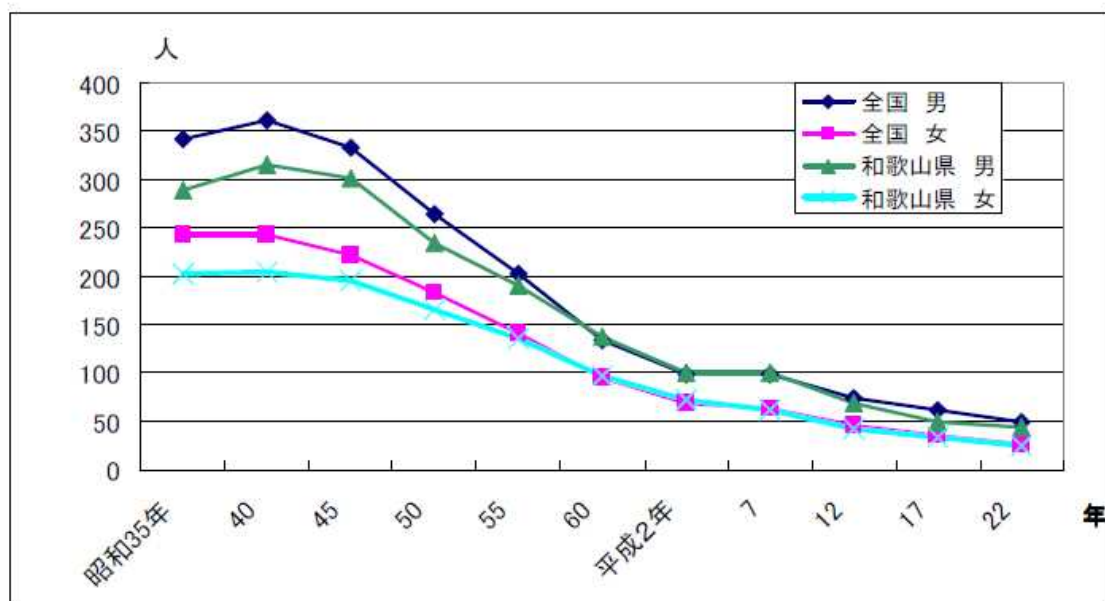
虚血性心疾患年齢調整死亡率年次推移（人口 10 万対）



人口動態特殊報告

●脳血管疾患

脳血管疾患年齢調整死亡率年次推移（人口 10 万対）



人口動態特殊報告

②県、圏域、市町における死因別の標準化死亡比（SMR）

「平成 20 年～平成 24 年 人口動態保健所・市町村別統計」第3表・第5表に基づき、保健所・市町村別死因別標準化死亡比(SMR)と死亡数・過剰死亡数を計算して一覧表にしました。

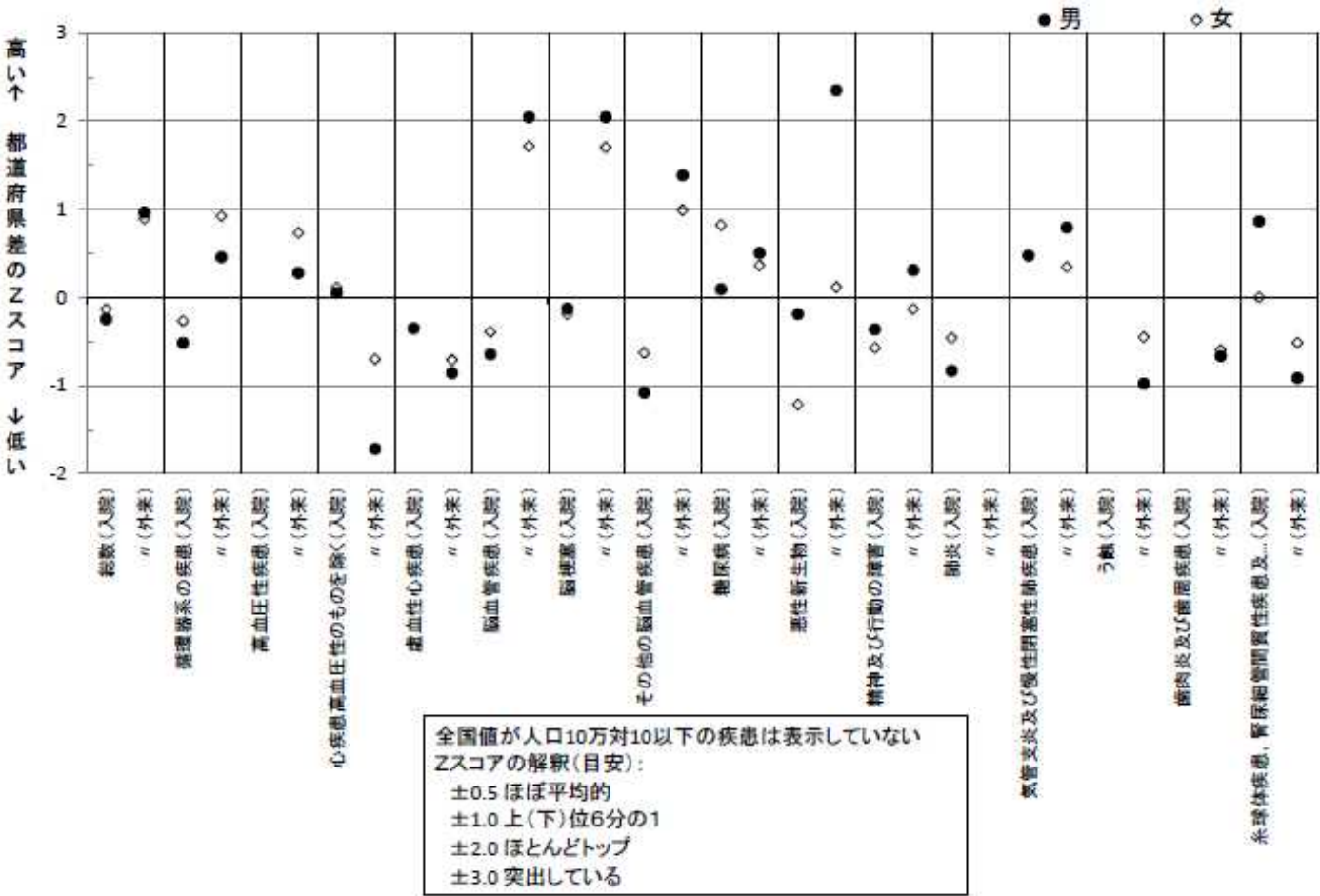
標準化死亡比 SMR：全国=100 とした時の、都道府県、保健所管内・市町村の死亡しやすさを意味します。

*印が付加された SMR は、 $P<0.05$ で有意（有意に低い、有意に高い）であることを意味します。

4. 下位の指標

医療

①和歌山県 年齢調整受療率（入院・外来）



※Z スコア：都道府県間の相対的な位置を意味する偏差値のような指標

②全国・県・市町別各種医療に関する指標

地区	病院数 (千対)	診療所数 (千対)	病床数 (千対)	医師数 (千対)	受診率 (千対)	外来受診率 (千対)
全国	0.2	2.9	46.1	8.4	686	668
県	0.3	3.6	46.7	9.3	744	725
橋本市	0.2	3.9	38.1	8.6	732	714
かつらぎ町	0.2	2.9	18.0	5.2	811	789
九度山町	0.7	2.7	80.9	5.4	910	889
高野町	0.0	4.9	0.0	6.8	742	723

出典：国保データベース（平成 27 年度累計）

③圏域内医療従事者数（勤務地ベース）

医師・歯科医師・薬剤師調査、医療従事者調査（平成 26 年）

地区	医師数	歯科医師数	薬剤師数	看護師数
橋本市	133	40	117	494
かつらぎ町	31	13	32	119
九度山町	10	0	9	38
高野町	6	4	10	12
合計	180	57	184	663

④医療費

和歌山県の1人あたり医療費は32.2万円で全国平均の30.7万円より高く、全国上位20位に位置しています。経年的には全国と同程度の伸び方の傾向を示しています。

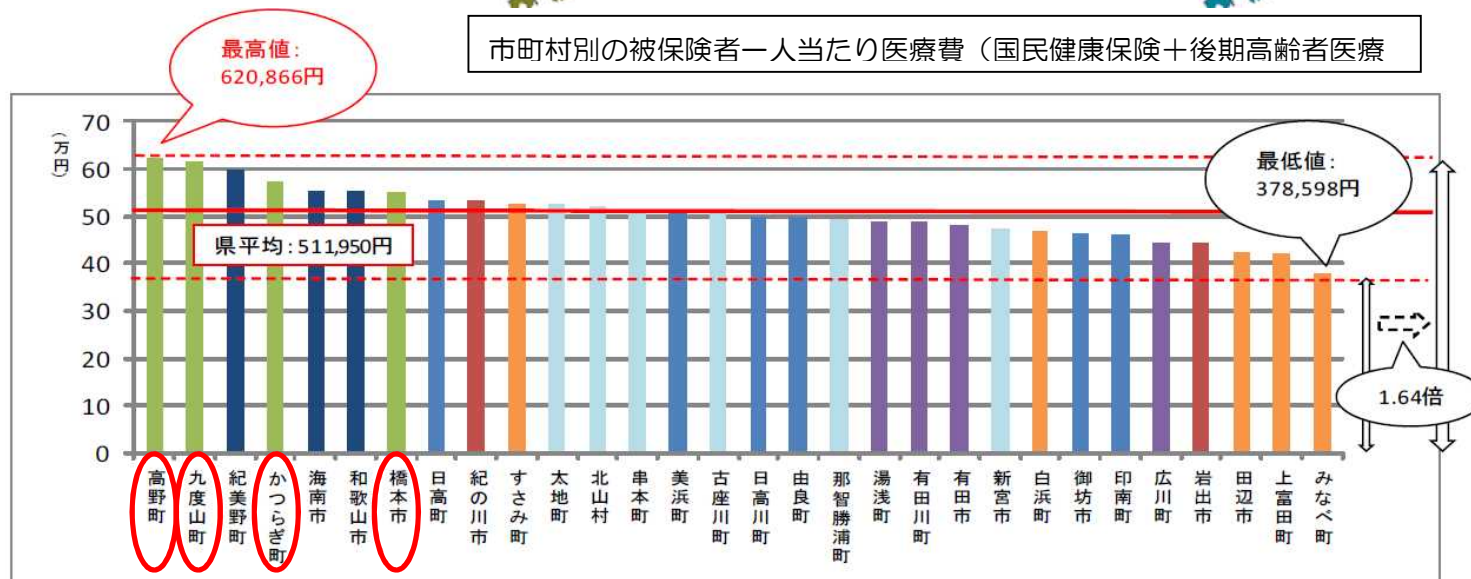
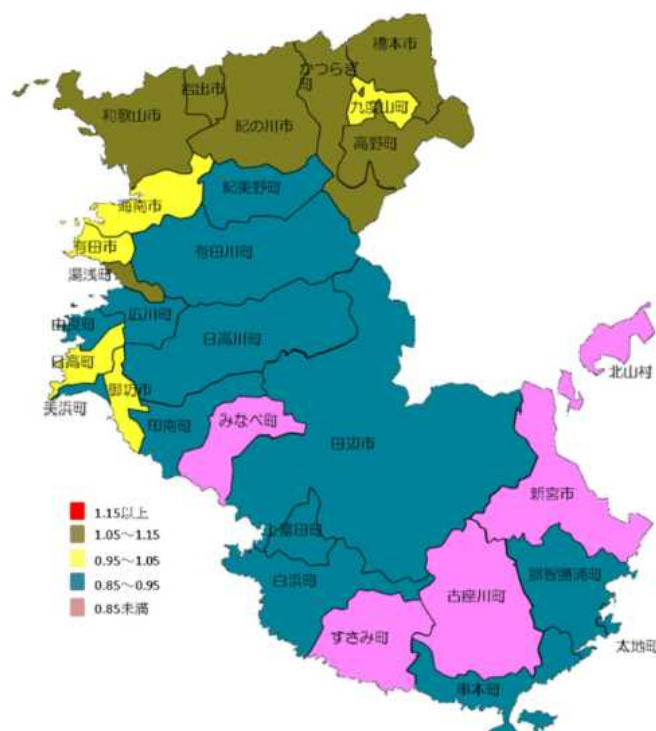
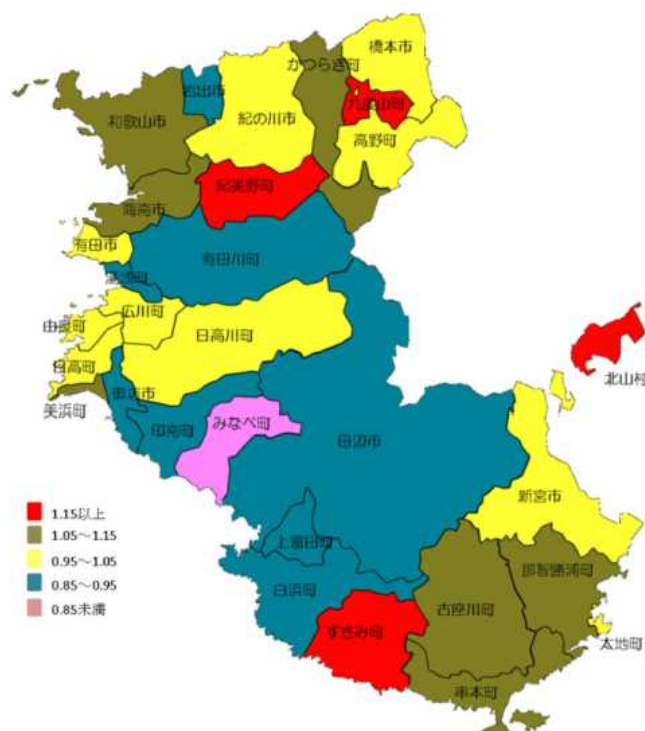
地域	総額 (億円)	1人あたり総額 (万円)	入院医療費 (億円)	1人あたり入院 (万円)	入院外+調剤 (億円)	入院外+調剤1人あたり (万円)
和歌山県	3,334	32.2	1,333	12.9	1,777	17.2
全国	392,556	30.7	157,774	12.4	206,412	16.2

厚生労働省 平成25年度(2013年度)医療費動向調査

市町村別の被保険者一人当たり医療費(国民健康保険+後期高齢者医療)

国保一人当たり医療費対和歌山県比

後期高齢者一人当たり医療費の対和歌山県比



平成25年度国民健康保険事業年報、平成25年度後期高齢者医療毎月事業状況報告書

出典: 和歌山県地域医療構想(平成28年5月)

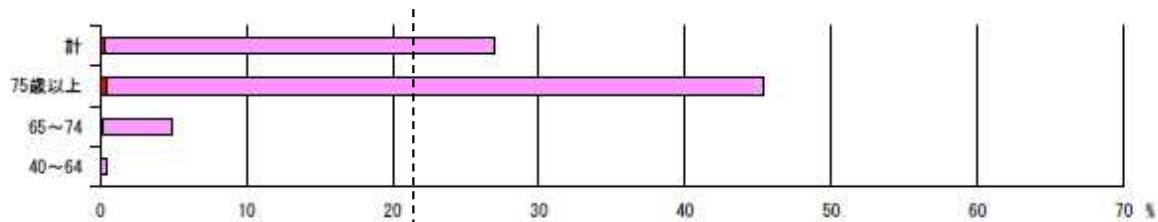
平成25年度の国保、後期高齢者医療費データでは、橋本保健医療圏の4市町は上位に位置しています。

介護

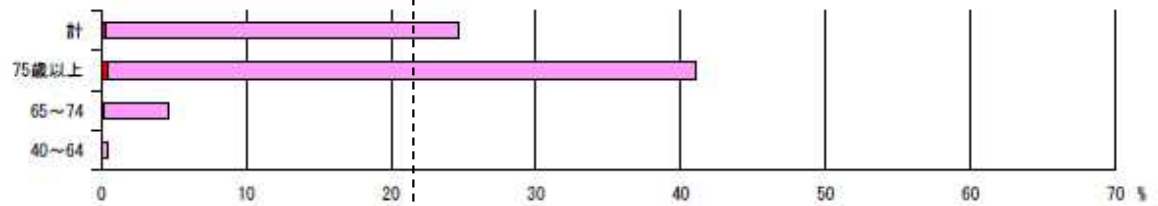
①介護認定状況（かつらぎ町、九度山町、高野町）

かつらぎ町

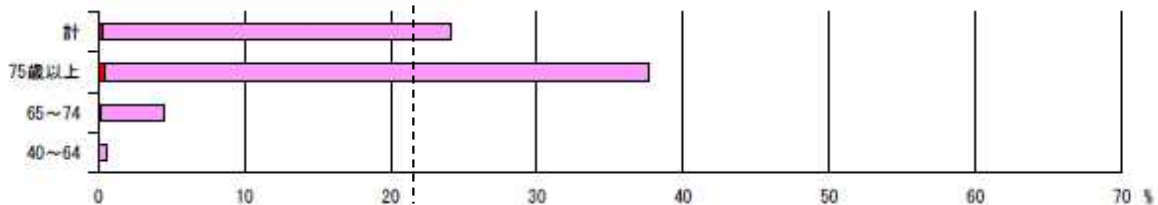
全国平均 20.7%



九度山町



高野町



②全国・県・市町別各種介護に関する指標

地区	認定率 (%)	居宅事業所数 (千対)	施設事業所数 (千対)
全国	20.7	2.48	0.18
県	25.0	3.41	0.24
橋本市	26.8	2.21	0.20
かつらぎ町	27.0	2.80	0.25
九度山町	24.7	3.53	0.29
高野町	24.1	2.68	0.38

出典：国保データベース（平成 27 年度累計）

介護認定率は、全国に比べ県全体は高く、圏域 4 市町も高い傾向にあります。

人口千人あたりの居宅事業所数および施設事業所数ともに、全国に比べ県全体は高く、4 市町とも高い傾向にあります。

5. まとめと次回以降のデータ分析の方向について（提案）

・上位の指標では、平均寿命および健康寿命は県も圏域内の4市町も全国に比べ短く、不健康期間は全国に比べ県、4市町とも長くなっています。

・中位の指標では、疾患別の年齢調整死亡率（県）において、悪性新生物で男性が全国比で高く、女性は全国に比べ低い傾向にあります。管内では胃癌のSMRが男女とも高値となっています。虚血性心疾患の年齢調整死亡率は、男女とも経時的に低下していますが、全国よりもやや高めです。管内では急性心筋梗塞のSMRは男女とも高値です。脳血管疾患の年齢調整死亡率は、全国と同様の傾向で男女とも経時的に低下率が大きく、県全体の脳血管疾患や脳梗塞のSMRは低いのですが、管内一部に脳梗塞のSMRが有意に高いところが見られます。

・下位の指標では、県の年齢調整受療率は、男女の脳血管疾患と脳梗塞外来受療率が高く、男性の悪性新生物の外来受療率が高くなっています。また、男女とも外来受療率が高めです。平成25年度の国保、後期高齢者医療費データでは、一人当たりの医療費額は、圏域内の4市町はいずれも県内上位に位置しています。また、平成27年度の介護認定状況は、県、4市町ともに全国より高くなっています。

このように平均寿命・健康寿命・不健康期間に寄与していると思われる中位の指標である疾患別のSMR等の特徴をみてきました。今後の統計データ活用の方角として、疾患を引き起こすリスク因子について下位の指標の生活習慣病や健診受診率等のデータをみながら、KDB データシステムを活用した市町別の検討を進めつつ、国より最新のNDB データが公開された場合は、流出入データ等の経時的变化を再度分析するという方角をひとつの案として提示いたします。

図：KDB 等を用いた市町別分析イメージ

